



もしもに備えて親子で学ぼう

9月6日、子育て支援センターは、とばっ子ハッピーセミナー事業の一環として、防災講座をあおぞら保育所で開催しました。講師に市内のボランティアグループ「子育て応援!!0・1・2・3サークル」代表の山本道子さんを迎え、子育て中の親子32組が参加しました。

講座では、落下物から身を守るため、背中を丸めて身を伏せるダンゴムシのポーズをとったり、散乱したガラスの破片に見立てた卵の殻を踏むなど、実際に地震が起きた時の身の守りかたなどを体験しました。



10月8日は「鳥羽の日」

10月8日を「鳥羽の日」として盛り上げようと取り組んでいる(社)鳥羽青年会議所(赤木隆和理事長)は9月12日、木田市長から認定証を授与され、その記念として桜の木108本を市に寄贈しました。「鳥羽の日」の当日、オレンジ色ののぼりが立った協賛店では、「鳥羽の日」を合言葉にさまざまなサービスが受けられます。協賛店やサービスの内容は、広報とば9月16日号に折り込みのチラシまたは(社)鳥羽青年会議所のホームページを確認してください。



ひと足早く伊勢えび漁解禁!

市内の離島地区で9月18日、ひと足早く答志島の答志地区と和具浦地区、菅島の3か所で、伊勢えび漁が解禁となりました。

次々と市場に運び込まれてきた伊勢えびは「ギイギイ」と鳴き声を上げ、漁協職員により手際よく大きさなどで選別されました。この日は、昨年の解禁日より多い約900キロが水揚げされました。

県内の本土での伊勢えび漁は10月1日に解禁され、来春まで行われます。



第二伊勢道路開通記念ウオーク

9月14日に利用が開始される第二伊勢道路で9月7日、開通記念ウオークが行われ、県内外から約2,700人が新しく完成した道路を歩きました。

参加者は、市内で最長となる鳥羽河内トンネル(3,260m)や、河内橋(413m)など車が走る道を歩き、普段できない経験を楽しんでいました。

ゴール地点では、物産店や屋台などが開かれ、トパティなどのほか、近隣市町のゆるキャラが参加者を歓迎しました。